

## ISO/TC61(プラスチック)/SC12 (熱硬化性材料)、分野の最近の動向

## 1. ISO/TC61/SC12の構成

ISO/TC61/SC12は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。現在、87の規格を有する。

幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2004年より受諾している。議長は、日本（2016年より山崎聡氏（三井化学株式会社））が受諾している。2020年のメンバーは、Pメンバー（投票権有す）が、16カ国、また Oメンバー(オブザーバ)は、11カ国であった。

表1のように三つのWG（作業グループ）が活動している。

WGのコンビナは、WG2は正岡和隆氏、WG5は正岡和隆氏、WG6は 神原良行氏（2020年より新任）が務めている。

表1 TC61/SC12のWG

WG	コンビナ	タイトル
WG 2	日本	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	日本	ウレタン原料

2020年は、対面でのTC61国際会議が中止となったため、SC12は、会議を開催せず投票により、規格開発を進めた。なお、2021年は、スウェーデン/ストックホルムでの対面会議が予定されている。(2021年10月上旬)

## 2. ISO/TC61/SC12の審議事項

## (1) WG2(フェノール樹脂)

コンビナ：正岡和隆氏

- a) 2020年Systematic Reviewは、すべて確認となった。
- b) 新規プロジェクトの提案は、特になかった。

## (2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

コンビナ：正岡和隆氏

- a) 日本から提案の、「Thermosetting resin and UV curable resin – Determination of shrinkage rate by continuous measurement method」については、NPが成立し、WDを修正して、CD投票が完了した。投票の結果、DISに進むこととなった。
- b) 2019年Systematic Reviewは、すべて確認となった。

## (3) WG6 (ポリウレタン原料) コンビナ：神原良行氏

- a) 日本から提案の、「非水銀法ポリオールの不飽和度測定」については、事前検証試験を継続している。WG会議は、別途Virtualで計画するか、2021年の対面会議で議論を予定する。
- b) 2019年Systematic Reviewは、すべて確認となった。

(以上)